

2015 度 小委員会活動成果報告

(2016 年 1 月 21 日作成)

小委員会名	新しい住環境価値の創造小委員会	主 査 名：野澤 康 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画本委員会	委員長名： 主 査 名：
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住地として維持するためにそのまちの価値を再発見・再価値化するための「まちづくり手法」と「まちづくり活動」のあり方を議論し、一般解の導出のあり方を示す。 ・これからの都市が実現すべき都市構造や土地利用の在り方やその実現手法・コントロール手法について議論し、次世代型の都市計画（制度）など、次の議論につながる示唆を得る。 <p>2015 年度活動計画：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーガナイズドセッションや見学会を通じた先進的な地方都市事例収集 ・最終年度研究集会の立案企画 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>野澤康 (工学院大学)：小委員会主査、岡絵理子 (関西大学)：小委員会幹事、桑田仁 (芝浦工業大学)：小委員会幹事、秋田典子 (千葉大学)、内田奈芳美 (埼玉大学)、佐久間康富 (大阪市立大学)、田中友章 (明治大学)、藤井正男 (UR 都市機構)、山中知彦 (新潟県立大学)、星卓志 (工学院大学)、高鍋剛 (都市環境研究所)、加藤浩司 (有明工業高等専門学校)、木内望 (国土交通省国土技術政策総合研究所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2015 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： http://news-sv. aij. or. jp/toshi/s7/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	オーガナイズドセッションの実施
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ul style="list-style-type: none"> ・オーガナイズドセッションを通して、まちづくり活動事例の収集を進めた。 ・最終年度研究集会の立案企画については、議論の取りまとめとして、 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの持続可能性 ・ビルト・エンバイロメント (空間) の復元力/自己修正力といった 2 軸に着目し、住環境価値の概念及び事例の整理を行ってはどうかというアイデアがおおむね共有できた。
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3 回にわたって実施したオーガナイズドセッションで発表された事例、およびこれまで数回にわたって実施した事例整理 (概念のマッピング) 2. 上記を踏まえ、次年度の研究協議会の開催に向けて、議論を取りまとめる方

	針について、さらなる明確化が必要（1 月中に小委員会を開催する予定） 3. 「新しい住環境価値の創造」を委員間で共有体験することで、それぞれが持ち合わせていた新しい住環境価値の活用・創造技術をもちより、価値共有をするための、さらなる機会が必要
--	--

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。